ニュース専修
●「専修大学」ホームページ●　http://www.senshu-u.ac.jp/
毎月1回15日発行
（定価一部90円）
発行所
専修大学広報課
〒101-8425
東京都千代田区
神田神保町3－8
☎03-3265-5819（直）

新時代にふさわしい大学へ

2014年　年頭にあたって

「神田」「生田」に新たな校舎
さらに教育環境を整備

理事長　日高　義博

新年、明けましておめでとうございます。昨年8月末日に学長職を退任いたしましたが、理事長職には引き続き就いております。学長職の3期9年間は、大学間競争が激化し、大学改革の積極的推進が求められた時期でありました。理事長職も兼務しての業務の遂行でありましたが、大学の総合力を上向きにし、二極分化の負のスパイラルにも引き込まれることなく、大学改革を推進することができました。これも、教職員、育友会、校友会をはじめ、皆様の熱きご支援とご協力のたものです。

二極分化を脱したとは言え、大学淘汰の時代はまだまだ続きます。新学長の矢野建一教授は、文学部長、社会知性開発研究センター副センター長などを歴任され、教学運営にも精通したバイタリティーあふれる研究者です。難しい局面にあっても、確固たるリーダーシップを発揮されるものと思います。

これからは、私と矢野学長は二人三脚の歩調を取って大学運営に当たりたいと思います。専修大学創立140年に向けた諸事業を推進し、本学の教育環境が改善されます。神田キャンパスでは、神田5号館（地下1階地上7階）の工事が本年3月には完了し、新学期から利用に供されます。これにより、法学部の教育環境が改善され、本年4月に完成します。多くの学生が国際交流の現場を、直接目にすることになりましょう。キャンパス内で日常的に多言語が耳に入ってくるという環境は、グローバル化を迎えた今日、ますます重要です。

また、昨年12月には、新体育寮・新体育館の地鎮祭がありました。生田3号館跡地に建設される大学院棟などの校舎（7階建ておよび3階建て）については、構造および使途内容の検討は終了していますので、まもなく着工計画などが提示されることになります。

石巻専修大学においては、昨年4月、新学部の人間学部がスタートしました。石巻地域の社会基盤が整わない中での学生募集でありましたので苦戦でした。しかし、地域に根ざした大学としての使命を果たすべく、さまざまな取り組みが実行されており、段階的な復活が期待されます。本年中に、キャンパス内に学生寮（仮称ユニバーシティハウス）の建設が着工されますので、学生の住環境が整備されます。

仙石線は、2015年度に全線開通の予定ですので、交通手段も復旧します。一歩一歩の前進ですが、地域社会における大学の役割を強く認識し、「社会知性の開発」に努めたいと思います。

これから、多忙な入試シーズンに突入します。今年も依然として厳しい状況にあります。志願者数は、大学の「心臓の鼓動」です。全ての部局において全力で取り組んでまいります。

専修大学サッカー部の全日本大学サッカー選手権大会での美しいスピードのある戦いぶり、そして、箱根駅伝に3年ぶり68回目の出場を果たし、襷（たすき）をつなぐため渾身の力で走り抜いた選手の姿は、専修人に自信と誇りを与えました。

解決すべき課題は山積みですが、気力と勇気をもって、大学運営に全力を尽くしたいと思います。

知の体系が問い直される時代
将来につながる学びを

学長　矢野　建一

新年、明けましておめでとうございます。

専修大学では、この4月より新しい教育システム「新・学士課程教育」をスタートさせます。高校までの学びと決別し、新たに専修大学で学ぶことの意義を学修する「転換教育課程」、教養・専門教育へのゲートとなる「導入教育課程」、そして学際科目などの「融合領域科目」によって連係された「専門教育課程」と「教養教育課程」という、4領域・3層構造からなる科目群が展開されることになります。

こうした「新・学士課程教育」は、本学の21世紀ビジョンである「社会知性の開発」の諸課題に応え、学生「一人ひとりの将来につながる学び」を保証しようとするものであります。

また、21世紀は、情報化・グローバル化が急速に進む「知識基盤社会」と言われています。その一方、さまざまな分野で「知の地殻変動」（日本学術会議　2010）が生起し、既存の学問・教育体系への信頼が大きく揺らぎ始める時代とも言われています。

欧米・国民国家中心、男性・おとな・健常者中心の世界観や、福島原子力発電所の事故に端的に見られるように、功利性・効率性・有用性を自明の前提として追求してきた科学技術や「知」の体系が根底から問い直される時代に入ったとみて大過ありません。

先般、特任教員・客員教員制度の学部への導入を決定しましたが、この制度は「知の地殻変動」によって生じた新しい領域、いわゆる境界領域や新領域で活躍する実務的研究者、さまざまな社会活動の経験を持つ生活的研究者などを積極的に受け入れ、「知識基盤社会」に対応しうる新たな研究・教育体制を整備しようとするものです。

さらに、本学にとってはスポーツの振興と、スポーツ学生への学業支援も大きな課題です。昨年暮れ、生田9号館アトリウムで開かれたサッカー部と陸上競技部（駅伝）の壮行会に出席しました。学業との両立を模索し、早朝練習に耐え、関東大学リーグ3連覇・インカレ3位を成し遂げたサッカー部。2年連続本戦不出場の悔しさをバネに68回目の箱根駅伝の出場権を獲得した陸上競技部の学生諸君の勇姿に、カレッジスポーツの神髄を見た思いがいたします。

今後、どのような支援ができるかを考えながら、新しいシステムを模索してまいりたいと思っています。

ところで、こうした教育・研究、スポーツの発展には、キャンパス整備の問題を避けて通ることができません。神田5号館と生田の専修大学国際交流会館がまもなく完成、また生田では新体育寮・新体育館の建設に着手し、新大学院棟と新2号館もまもなく着工の予定となっています。

しかし最大の懸案は、こうした神田・生田校舎を包括するキャンパス構想の策定です。なかでも神田靖国通り沿いに取得した新校地は、複数学部の授業を都心で展開することができる規模であり、大学全体の総合的なグランドデザインの策定が喫緊の課題です。

創立140年に当たる2019年までには新校舎を完成させ、新時代にふさわしい大学としての基盤を整備したいと考えています。このため2014年度には早々に「専修大学キャンパス検討会議」（仮称）を立ち上げ、法人と緊密に連携しながら、ソフト、ハード両面の方向性を確定したいと思います。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

▼「生田新体育寮・新体育館（仮称）」の地鎮祭で鍬（くわ）入れする日高理事長＝2面に記事

▶体育会が80周年を迎え、12月には記念式典が開催された＝5面に記事

主なニュース

「生田新体育寮・新体育館（仮称）」着工……❷
公認会計士試験現役合格者に聞く／合格者祝賀会……❸
自然科学研究所公開講演会「太陽系惑星探査の最前線」……❹
文・野口ゼミ　ユニバーサル絵本コンテストで優秀賞……❻❼
箱根駅伝　〝オール専修〟で応援　選手の力走沿道で後押し……❾
石巻専修大学　坂田隆学長　年頭のあいさつ……❿

新・学士課程教育
2014年4月
スタート

出願受付中

スカラシップ・
全国入学試験〈一部〉
◆試験日　2月1日（土）
◆対象学部　全学部全学科
◆出願締切日　1月24日（金）（消印有効）

一般前期入学試験〈一部〉
◆試験日
2月9日（日）10日（月）
12日（水）13日（木）
◆対象学部　全学部全学科
◆出願締切日　2月4日（火）（消印有効）
◆窓口受付日　2月5日（水）神田キャンパス

詳細は入学試験要項・HPで必ずご確認ください。
http://www.senshu-u.ac.jp
入学センターインフォメーション
【神田キャンパス】TEL03-3265-6677
【生田キャンパス】TEL044-911-0794